



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



本日「防災給食」 備蓄の救急カレーを食べました



みなさんは「今日の給食はいつもとちがうぞ?」と思いませんでしたか?そう、今日は「防災給食」です。献立を見て「あれ?お皿がない!?!」「乾パンってなんだ?」「いつもより量が少ないなあ…」などなど。びっくりした人もいるかもしれませんね。そう、今日は「食の避難訓練」なんです。「避難訓練」は災害が起こった際に命を守る行動をする練習ですよ。「食の避難訓練」とは災害が起こった際にどのような食料を食べて命を守るかということを体験する練習なのです。

今日の献立のメイン、「救急カレー」が誕生したのは2011年に発生した「東日本大震災」がきっかけです。東日本大震災では給食調理場の倒壊、停電や断水、道路の亀裂によって道路が使えなくなり食料が届かない…などの理由からほとんどの被災地で給食が完全にストップしてしまいました。このことを教訓に全国の栄養教諭(大嶋先生のことですね)や調理場の職員さんが相談して「巨大な災害が発生したことを想定し、救援物資が届くまでの間必要な栄養をとることができる非常食」ということで「救急カレー」は生まれました。

東日本大震災のような大きな地震が発生し、全てのライフライン(水や電気、ガスなど)がストップした場合、必要な救助物資が到着するまでには約72時間かかると言われていています。72時間飲まず食わずで生活する…。想像するとなかなかしんどいですね。つまり、常日頃から72時間を生き延びることができるだけの食料を備える必要があるわけです。

伊里中学校では災害時にも対応出来るように校内に全校生徒分の救急カレーを備蓄しています。学校にいて被災した場合、この救急カレーを食べて72時間はなんとか命をつなぐことができる!じゃあ、自宅にいるときに被災したら…。みなさんの家には電気やガスを使わずに調理することのできる食料はどれくらいあるのでしょうか?

今日の「食の避難訓練」をきっかけに少し考えてみましょう。

○救急カレーの工夫点



温めなくても、水がなくてもそのまま食べられる!

野菜がたくさん入っていて必要な栄養がとれる

大豆などのアレルギーの原因材料不使用!
(アレルギーのある人でも安心して食べられる)



○非常時に備えてのチェックリスト(みんなのおうちは大丈夫?)

3日分の家族分の食料の備蓄がある(水は一人1日3リットルは必要)

食料は火や水がなくても調理できるものだ(または最小限の水でつくれる)

(例 缶詰、インスタント食品、フリーズドライ、カロリーメイト、乾パン、ビスケット、チョコレート、アメ(実はチョコレートはカロリー補給に◎))

家族の食べられないものが入っていないか

(例 アレルギー、歯が弱いお年寄りには乾パンではなくてビスケットが◎)

栄養が十分にとれるか

(いろいろなタイプの食料を用意するのが◎。偏ると栄養も偏ります。)



給食担当 光畑



毎週金曜日の朝は、生徒会役員が校門に立ちあいさつを行っています。金曜日と言えばフライデー、じゃなくて、イングリッシュデーです。当然朝にあいさつも「グッドモーニング」です。やはりこれも「継続は力なり」なのでしょうか、最近では英語のあいさつも定着してきたように思います。恥ずかしながら言える生徒は増えてきましたが、そうなると次は「発音」ですね。みんなで「グッモォンン〜（ミツツイ先生風の発音で読んでね♡）！」を目指しましょう。



第3回「手をつなぐ育成会」「市P連」代議員会



3日（金）の18時30分より、第3回の「備前市手をつなぐ育成会」並びに「備前市PTA 連合会」の代議員会が緑陽会館で開かれました。

今年度の会長・事務局校だったわけですが、この会で何とか1年間のお務めのほとんどが終了しました。

来年度に向けて、備前市のPTAの活動を充実させていこうと確認して会を終了しました。

会員の皆様には今度ともご協力をよろしくお願いいたします。

二十四節気 雨水

末候「草木萌え動く（そうもくもえうごく）」3月1日～4日頃

次第に和らぐ陽光の下、草木が芽吹き出す頃。冬の間蓄えていた生命の息吹が外へ現れ始める季節です。



二十四節気 啓蟄（けいちつ）



啓蟄とは、陽気に誘われ、土の中の虫が動き出す頃のこと。一雨ごとに春になる、そんな季節の気配を感じます。

初候「蟄虫戸を啓く（すごもりのむしとをひらく）」3月5日～9日頃



今年も片上ひなめぐり



今年も「片上ひなめぐり」が盛況の中、開催されているようです。3日に備前市教委に行ったついでに、ちょっと覗いて来ました。

宇佐八幡宮の階段にズラリ飾られたひな人形たち、今年も圧巻でした。全国各地でこの時期はひなめぐりが行われていますが、地元での取組が年々大きくなっていくのは嬉しいことです。